

Osaki Culture

おおさき文化を創るいろいろなもの。本、音楽、スポーツ、心を豊かにする遊びの情報を届けます。



- 『森は考える 人間的なものを超えた人類学』エドゥアルド・コーン 著 垂紀書房 刊
ジャングルで人と遭遇した肉食のジャガーが、人を襲うのか否かを何で判断するのかなど、アマゾン川上流の森に暮らす、ルナ族のもとで調査をした民俗誌。
- 『記憶の森を育てる 意識と人工知能』茂木健一郎 著 集英社 刊
人類はどのように自らの知性を磨けばよいのか。意識とは何かを考え続ける脳科学者は「歩こう、話そう、森を育てよう、すべての記憶を土として」と提案します。
- 『牡蠣の森と生きる』畠山重篤 著 中央公論新社 刊
気仙沼の牡蠣養殖者が森に木を植える活動を始めた理由。自身の少年時代から東日本大震災を乗り越え、現在までを語ります。「読売新聞」に連載「時代の証言者」の書籍化。
- 『物語の森へ』東京こども図書館 編・刊
児童文学作品の中から選りすぐりの1,600冊を、あらすじ、本の魅力とともに記したブックリスト。児童文学には希望が描かれています。大人もぜひ。
- 『大森林の少年』キャスリン・ランスキー作 ケビン・ホークス 絵 あすなろ書房 刊
悪性のインフルエンザから命を守るため、10歳のマーベンは、北の大森林の木材伐採場に一人向かいます。作者の父の実話で、絵から雄大な自然が感じとれます。

図書館より ☎22-0002

Vol.183 「森へ行きましょう」

森は、太古から人が生きていくための場所として、食料をはじめ、多くの恵みを与えてくれました。樹木の香り、葉を渡る風、落葉を踏みしめる感触は私たちの心を癒してくれます。

森とは、『広辞苑』（第7版）に「樹木が成り立つ所」と書かれています。時には、樹木を「森」と置き換え、多く集まっていることを例えることがあります。古今東西さまざまな視点から森を紹介します。さあ、森へ行きましょう。素敵なことを見つけに！

中止している「おはなし会」の代わりとして、希望する子どもを対象に、個別に絵本などの読み聞かせをします。職員まで声掛けください。

FM-radio FMラジオで市の情報を発信中

▷オオサキ文化：毎週金曜日 18:30~18:40 77.1MHz
スマートフォンアプリ「radiko」で、1週間前までさかのぼって聞くことができます。

Youtubeチャンネルを開設しました！

動画でも大崎市の魅力を発信しています。

▶「オオサキ文化チャンネル」QRコード



▷おおさきエフエム放送:83.5MHz (http://osaki-fm.or.jp/) 月~金曜日 ①7:30~7:35 ②12:00~12:05 ③17:50~17:55 土・日曜日 ①8:00~8:10 ②12:00~12:10 ③19:00~19:10

11月の移動図書館「きらり号」

2日(火)	大貫地区公民館(10:35~11:35) 沼部公民館(13:05~14:00) ウジエスーパー田尻店(14:25~15:20)
4日(木)	古川清滝地区公民館(9:50~10:30) 真山地区公民館(11:00~11:45) 有備館の森公園駐車場(13:40~14:25) ウジエスーパー岩出山店(14:50~15:35)
5日(金) 19日(金)	松山駅前集会所(9:50~10:35) 下伊場野水辺の楽校駐車場(11:10~11:55) 三本木総合支所駐車場(13:40~14:25) 南谷地集会所(14:50~15:40)
24日(水)	鳴子公民館(10:10~10:55) 川渡地区公民館(11:20~12:05) あ・ら・伊達な道の駅(13:30~14:15) スーパーセンターラスト岩出山店(14:45~15:30)
25日(木)	鬼首地区公民館(10:40~11:25) 中山コミュニティセンター(13:05~13:50) 湯めぐり駐車場(14:15~15:00)
26日(金)	松山公民館(9:50~10:35) 鹿島台総合支所駐車場(11:05~12:05) 鹿島台公民館(13:25~14:25) 旧鹿島台第二小学校(14:55~15:25)

※悪天候などの事情で、運行を中止・変更する場合があります。

Discover OSAKI

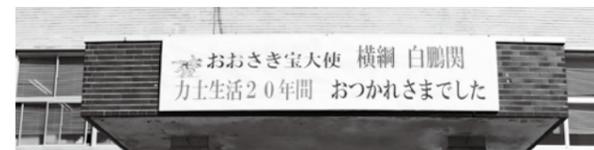
おらほのニュース
発信します！

横綱白鵬関 力士生活20年間お疲れさまでした！

おおさき宝大使の横綱白鵬関が引退したことを受け、労のねぎらいと感謝を込めて、10月4日、市役所正面玄関に横断幕を掲げました。

東日本大震災では、被災者の慰問激励や市民とのちゃんこ鍋交流などに訪れたり、多くの支援で市民に元気と勇気を与えていただきました。

親方としての今後の活躍に期待します。



練習の成果を披露！ 公民館まつり

10月9日、「ありがとう、中央公民館！第39回公民館まつり」が開催されました。令和4年3月で中央公民館が閉館するため、現施設での開催は今年が最後となりました。

大崎市民会館では、23団体が合唱や楽器演奏、太極拳や踊りなど、日頃の練習の成果を披露し、客席から大きな拍手が送られました。中央公民館では、絵画や絵手紙、木目込み人形など、丹精込めて制作された作品が展示され、訪れた人を楽しませていました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和元年度、2年度は中止となった公民館まつり。出展者は「中央公民館での最後の展示。無事に開催できてよかった」と笑顔で話していました。



優しい音色で、観客を癒したハーモニカの演奏

ヨーロッパ生まれの「ボッチャ」を楽しみました！

10月10日、松山B&G海洋センターで、ニュースポーツ「ボッチャ体験会」が行われ、未就学児から高齢者まで26人が参加しました。

ボッチャは、パラリンピックの正式種目で、脳性麻痺など比較的重い運動機能障がいのある人のために、ヨーロッパで考案されたスポーツです。ジャックボールと呼ばれる白いボールに赤・青のそれぞれ6個のボールを投げたり、転がしたり、他のボールにぶついたりし、いかに近づけられるかを競います。老若男女、障がいの有無に関わらず、だれもが一緒に楽しめるスポーツです。

この日は、3対3で競い合い、高齢者のチームと対戦した子どもたちは「お年寄りのチームの方が強いな」と、夢中になって競い合い、スポーツの秋を楽しんでいました。

▶みんなでボールに集中！



vol.3 いきいき百歳体操の団体を紹介！

「福芦団地」(鹿島台地域)

福芦団地は、平成28年10月に発足、15人程だったメンバーが、今では34人の大所帯。発足当時からレジェンドや、活動を支えるサポーターメンバーも多数います。

コロナ禍により、毎週金曜日の9時からと10時30分からの2部に分かれて活動しています。

百歳体操を続けることで、体力を維持できることを感じていて、1月に予定している体力測定が楽しみです。何よりも、メンバーに会えることが嬉しく、元気の源になっています。



▲今年89歳の佐々木仁さん。毎週かさず参加する
▶DVDを見ながら体操する2部のみなさん